

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



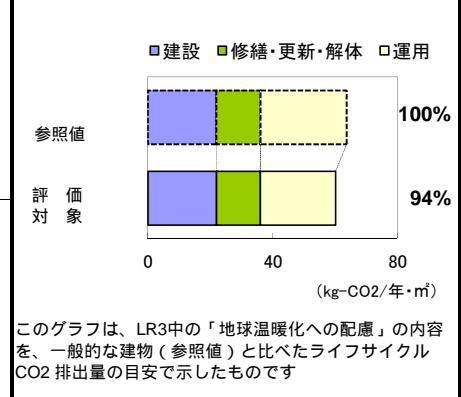
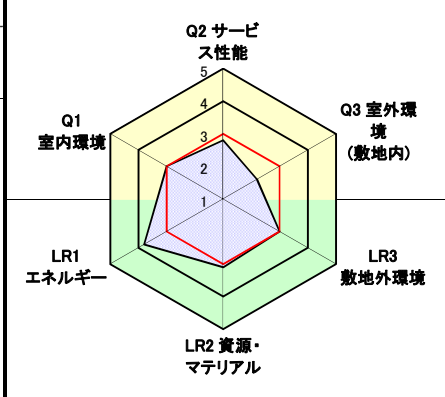
■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要					
建物名称	(仮称)東万代ビル				
建設地	中央区 東万代町82,83,84-2, 85				
用途地域	商業地域、準防火地				
建物用途	集合住宅				
竣工年	2013年3月 予定				
敷地面積	827.39 m ²				
建築面積	436.73 m ²				
延床面積	2,767.32 m ²				
階数	地上9F				
構造	RC造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2012年5月22日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{44}{41} = 1.0$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.0		バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.2		維持管理	Q2.1.3	3.0
			更新性	Q2.3.3	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 2.0		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.4
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 3.3		建物の熱負荷抑制	LR1.1	3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0		節水	LR2.1.1	3.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 2.5		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
			まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
資源の再利用の向上を図る為、使用材料の選択に配慮した。					

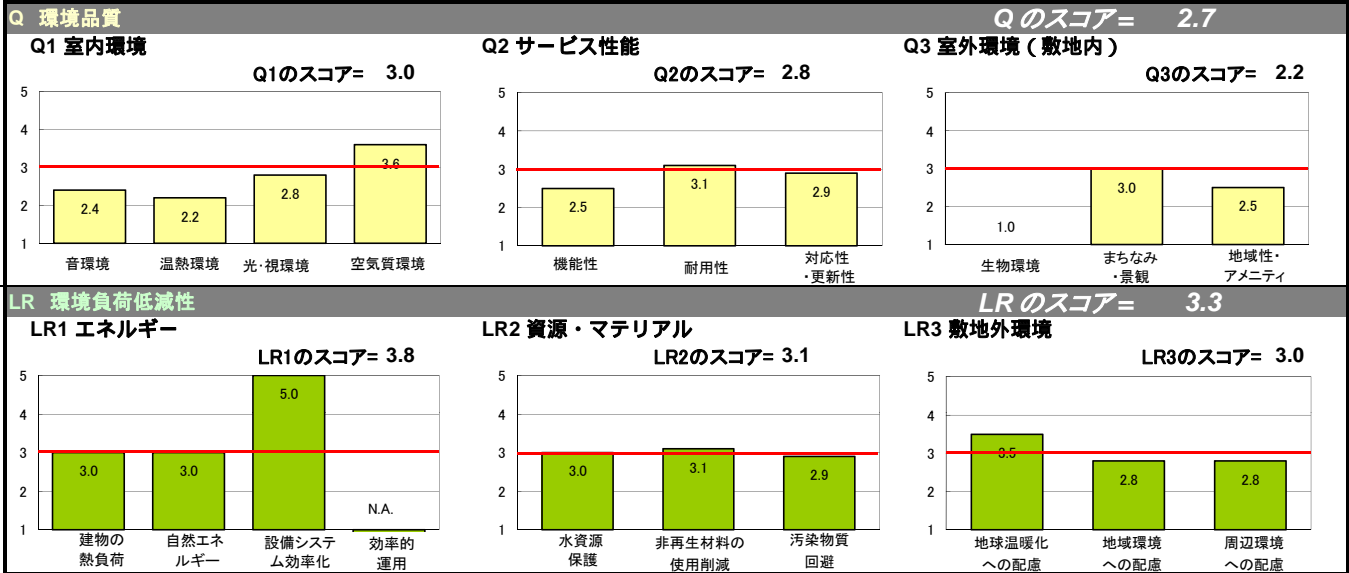
CASBEE[®]新潟 | 評価結果内訳 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル, CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | **2-2 大項目の評価(レーダーチャート)** | **2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)**



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 プロジェクトは新潟市中心市街地の一画であり市街地の活性につながる都会的デザインを目指した。又、都市環境の悪化を防ぐ目的として設備機器は高効率製品の採用を図る。		その他
Q1 室内環境 居室に大きな開口部を設けることによって十分な自然光を取り入れるように配慮した。住戸内の仕上は全面的に科学物質放散量が少ない材料を使用し、シックハウスに対する配慮をした。	Q2 サービス性能 配管材料に耐用年数の長いものを使用し更新間隔の長期化に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 市内中心地にふさわしくモダンなデザインとすることで街並みや景観に配慮した。
LR1 エネルギー 効率の高い設備機器及び照明器具を使用することで消費エネルギーの削減に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用し、解体時の環境負荷削減に配慮した。	LR3 敷地外環境 中心市街地であるため周辺環境が悪化しないよう制限を越える計画とならないよう配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される